

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	10 -	事業名	広聴事業	担当部課	市長公室情報課
------	------	-----	------	------	---------

基本情報	総合計画	基本方針	5	みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	4	行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する	款	2	総務費
		施策の進め方	-		項	1	総務管理費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	7	広報広聴費
		政策分類	-		大事業	3	広聴事業
	その他(関係法令、要綱等)		-				
事業開始の背景、経緯等		幅広く市政に関する意見やアイデアを聞くことにより、より市民ニーズに沿った施策・事業を実施するため。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民からの意見、提案等を聴くため「ご意見箱」及びアイデア提案「一平さんへひとこと！」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市に関わる全ての人					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックすることで、対象者にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。					
	事業を構成する事務事業	① 広聴事務事業	現状維持	④			
		②		⑤			
		③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
		事業費(A)	千円	予算 決算	/	0 0	1,167 902	1,194 795
	人件費(B)	千円	決算	/	8,849	9,552	12,511	
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	8,849	10,454	13,306	

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A	ご意見・提案 受付件数	件	目標 実績	600 422	500 489	500 520	500 401
B			目標 実績					
C			目標 実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	市へ意見を言うことも住民の「まちづくり」への参加手段の一つととらえ、過去、ご意見及び提案をいただいた件数の実績を参考に数値目標を設定する。							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町も同様に行っている。
------	-----------------------	-------------------------------------------------------------

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標に対して、平成28年度と比べ件数が減少する状況となっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 広聴事業は、市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックする重要な役割を果たしており、多様な手段を用意する必要がある。今後も本市をとりまく環境に見合った方法を模索し、検討していく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 本市の目指すまちづくりにつながるような御意見及び提案は、積極的にホームページに公開し、市民主体のまちづくりにつなげていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見、提案等を行いやすくするとともに、市民主体のまちづくりにつながる取組に資するようにする。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		広聴事業										
番号	①	事務事業名	広聴事務事業		款	2	項	1	目	7	大事業	3	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市に関わる全ての人に対して、ご意見「市政ご意見箱」及び提案「一平さんにひと言」を紙媒体と市ホームページにて受け付けている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	意見及び提案を集約し、市長始め業務担当部署に引き継ぐことで、把握した市民ニーズを施策へ繋げる。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		0	1,167	1,194	1,046
		決算		0	902	795	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 広報広聴事務賃金						795	千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市政ご意見箱	件	目標	600	500	500	500	500
		実績	422	489	520	401	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
広聴事業は、市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックする重要な役割を果たしており、ご意見を提出しやすい多様な手段を用意する必要がある。今後も本市をとりまく環境（子育て世代が多い等）に見合った方法を模索し、検討していく。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

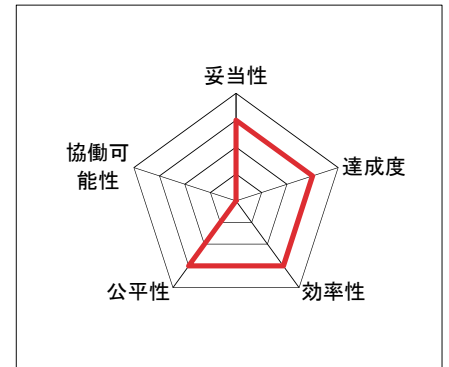
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
ご意見及び提案の方法については、電話や文書より、ホームページの市政ご意見箱を利用する件数が増加している。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞
ご意見と提案の窓口の違いがわかりにくいこと及び投稿手段において紙媒体よりメールが多いこともあわせ、今後はご意見と提案受付窓口等の集約を検討する。また、意見投稿者に対する回答送付の短時間化も検討する。
(何をどのような状態に改善したのか)
ご意見と提案窓口の集約については、市政・広報e-モニター「ながモニ」を活用し、アンケート行ったところ、それぞれ目的の違いがあるという意見が多くあったため、残すこととした。回答送付については、おおむね基準期間（2週間以内で回答）を達成した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
市民が市に対してご意見を提出する際、担当部署が判断できない場合がある。その際は情報課が広聴窓口としてご意見者提出者に話を伺い、迅速的確に業務担当部署に繋いでいる。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
市民からのご意見内容の多様化に伴い、繋ぐ担当課及び関連課が増えていることから対応とりまとめ事務等の効率化に苦心している。

7. 今後の方向性

現状維持

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
ご意見投稿手段及び処理の見える化等について、今後も本市をとりまく環境（子育て世代が多い等）に見合った方法を模索し、検討していく。